

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画)に基づく事業)

令和 年 月 日

資料 1

協議会名: 尾鷲市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費用庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者等】 名等の名称を記載】	【系統名・幹路名・設備名・運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、尾鷲幹路に係る確保維持事業において離島航路構造改善補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】 尾鷲市コミュニティバス(八鬼山線 尾鷲駅～三木浦～三木里駅前 尾鷲駅～三木浦～小脇 尾鷲駅～九鬼駅～コノフ	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】 利便性の更なる向上、利用状況の要因分析のため、利用者に対するアンケート調査を継続実施した。	A 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】 A 運行計画日数を計画どおり実行し、事業は適切に実施された。	A 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】 アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の0.101に対して0.10で、目標を達成した。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生かして生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載 引き続き、利用促進を図るため、聞き取り調査等を行い利便性の向上に取り組みむとともに、路線及びダイヤの周知を徹底し、イベント等開催時の活用を推進する。 また、令和元年9月末現在の路線及びダイヤにおいては、八鬼山線～ハラソ線間の接続が不十分であるため、接続強化のため、路線及びダイヤの一部改正を実施する。
三重交通	尾鷲市コミュニティバス(ハラソ線 尾鷲駅～三木里駅前～梶賀	利便性の更なる向上、利用状況の要因分析のため、利用者に対するアンケート調査を継続実施した。	A 運行計画日数を計画どおり実行し、事業は適切に実施された。	アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の0.301に対して0.54で、目標を達成した。	引き続き、利用促進を図るため、聞き取り調査等を行い利便性の向上に取り組みむとともに、路線及びダイヤの周知を徹底し、イベント等開催時の活用を推進する。 また、令和元年9月末現在の路線及びダイヤにおいては、八鬼山線～ハラソ線間の接続が不十分であるため、接続強化のため、路線及びダイヤの一部改正を実施する。
尾鷲市	尾鷲市コミュニティバス(尾鷲地区 尾鷲駅～天満堤防～紀伊松本 尾鷲駅～天満堤防～夢古道おわせ前～紀伊松本 尾鷲駅～夢古道おわせ前～尾鷲駅 尾鷲駅～光ヶ丘～尾鷲駅	利便性の更なる向上、利用状況の要因分析のため、利用者に対するアンケート調査を継続実施した。	A 運行計画日数を計画どおり実行し、事業は適切に実施された。	アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の0.601に対して0.75で、目標を達成した。	引き続き、利用促進を図るため、聞き取り調査等を行い利便性の向上に取り組みむとともに、路線及びダイヤの周知を徹底し、イベント等開催時の活用を推進する。
尾鷲市	尾鷲市コミュニティバス(須賀利地区 旧小学校前～漁協前～島勝 旧小学校前～漁協前～尾鷲総合病院	利便性の更なる向上、利用状況の要因分析のため、利用者に対するアンケート調査を継続実施した。 また、利用者の利便性向上策として、第1便に限り「尾鷲総合病院」への直通便を整備した。	B 運行計画日数を計画どおり実行し、事業は適切に実施された。	アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の1.901に対して1.07で、未達成となった。 調査において満足度減少の対象となる「不満」や「不満」と回答した方の理由は、第1便の「尾鷲総合病院」への直行便の増便を望むものであった。	引き続き、利用促進を図るため、聞き取り調査等を行い利便性の向上に取り組みむとともに、路線及びダイヤの周知を徹底し、イベント等開催時の活用を推進する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	尾鷲市地域公共交通活性化協議会
-------	-----------------

評価対象事業名:	地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
----------	-----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市は、地域の約92%が山林で、沿岸部には変化に富んだリアス式海岸が形成されるなど、豊かな自然環境に恵まれている一方、市街地周辺部には10ヶ所の集落が点在し、それぞれの地域において過疎高齢化が進行していることから、これらの各地域の公共交通をいかにして結ぶかが重要な課題とされてきました。本市の公共交通機関は、鉄道、路線バス、タクシーがその役割を担っています。鉄道はJR紀勢本線、路線バスは「尾鷲長島線」、「島勝線」、「ふれあいバス尾鷲地区」、「ふれあいバス須賀利地区」、「ふれあいバスハラン線」、「ふれあいバス八鬼山線」と、都市等を結ぶ長距離バスが運行されています。</p> <p>少子高齢化・過疎化等の理由により、本市の高齢化率は年々増加傾向にあり、通勤や通学で利用する人口も減少を続け、公共交通サービスを維持確保していくためにはより多くの市民が公共交通を利用する必要があります。これを實現するため、市民ニーズに応じた生活交通を確保することを目的として、持続可能な地域公共交通確保維持改善事業に取り組んでまいります。</p>
-----------------------------	--